

受験生に魅力を伝える！

長岡造形大学視覚デザイン学科の Web サイトを作ろう！

質問に答えていくと、コンセプトが固まる不思議な企画書

学籍番号 203084

氏名 名和川惇水

どんな受験生？（全般、近県、遠いところ、浪人生、〇〇をしたい人、〇〇な人、など）

- ☐ 「デザイン」というものを漠然としか知らない人
- ☐ 画塾などに通ったことがなくアトリエでの制作がいまいちピンとこない人

その受験生はどんな情報がほしい？また、公式サイトで不足している情報はなに？

- ☐ 具体的な課題内容や制作環境についての情報  
→入学するまでアトリエというものがよくわからなかったし、2、3年生と学年が上がるにつれどこで制作するんだ？！となった

☐ スタジオや映像編集室などの設備が充実している→春休みなども借りられる

長岡造形大学視覚デザイン学科は人数が多いため、（建築の備、就職、先輩が先住、など）

良くも悪くも自分の居場所（制作場所）を選べる

それらをどうやって伝える？（インタビュー、読み物としての記事、写真、動画、など）

- ☐ 視覚デザイン学科の学生にインタビューを行う  
↓  
内容をコラムみたいな感じでまとめる

受験生はどんなタイミングで見るの？（大学選び、出願前、テスト前、など）

- ☐ 大学選び
- ☐ 合格した後

受験生はどんな目的で見るの？（他大学との比較、志望校選び、受験対策、気持ちを高める、など）

- ☐ 大学生活のイメージトレーニング
- 気持ちを高める

サイトを通じて受験生はどうなる？（問い合わせ、受験候補になる、受験する、気持ちが高まる、など）

- ☐ ものづくりやデザインへの漠然としたイメージが少しは固まるかも…
- ☐ 課題に対する学生一人ひとりの取り組み方を知ることができる
- 新たな発見

どんな雰囲気なサイトになりますか？（視覚的なねらい）

- ☐ 先輩とその人のアトリエが一目でわかる
- ☐ ワクワク感を重視
- クリエイティブはワクワクする環境でやらずにちゃ！

その他

サイトのコンセプト（ねらい）を一言で言うと？

アトリエをもたない僕たちの、小さなアトリエ。

ラフとかツリーとかサムネイルとか、全体像を想像できる具体的なもの。



#### 視覚デザイン学科は アトリエがない！？

長岡造形大学は設備が充実している学校である。撮影スタジオや映像編集室などプロが使用するような場所を学生の頃から使えるのは最大の利点とも言えよう。しかし、視覚デザイン学科には普段作業をする専用の「アトリエ」がない。人数が多いことも理由に挙げられるが、そもそも僕たちはMacさえあればどこでも作業できるからだ。一見デメリットにも思えるアトリエがない点。Mac片手にさすらう視覚デザイン学科の「アトリエ」をのぞいてみよう

#### アトリエを持たない僕たちの 小さなアトリエ。

気になる先輩のアトリエの扉を叩いてみよう

Read books and  
Sometimes escape

3年

#### The cover story of NID

### Read books and Sometimes escape

本とたまの逃避行



| Major        | Remarks                                                                 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 3年 伝達デザインコース | 基本は自宅で作業することも多い3年生。お家は自分好みに作られた空間だからリラックスして課題に取り組むことができる。たまの逃避行にもぴったりだ。 |
| Space        |                                                                         |
| 自宅の本棚の前      |                                                                         |



#### デザインを耕すアイデアの肥やし

本がたくさんありすぎて今まで二回も本棚を買い換えた。進学してから200冊以上本が増えて、気付いたら壁一面を本棚に使うことに…。母に「そんなに本を持ってるっていつか筆箱の肥やしになるよ」と言われるけれど、私にとって読書はたくさんの“人生”を経験することであり、それは専攻しているUI/UXとも深く関わる“体験”であると思っている。一見デザインとは関係ない書籍がたくさん並んでいるし、なんなら漫画もたくさんある。でもアイデアって存外、関係ないところからふっと湧いてくるものじゃないかとも思うのです。

#### 他人の靴を履いてみる